

トレーディア株式会社

第95期 報告書

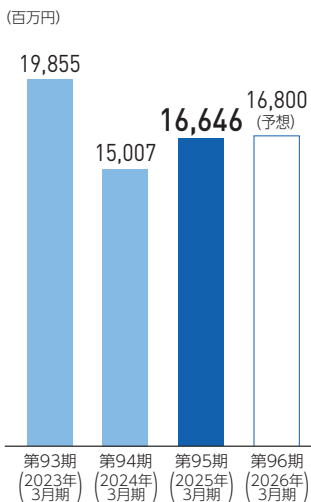
2024年4月1日～2025年3月31日

連結財務のハイライト

2025年3月期

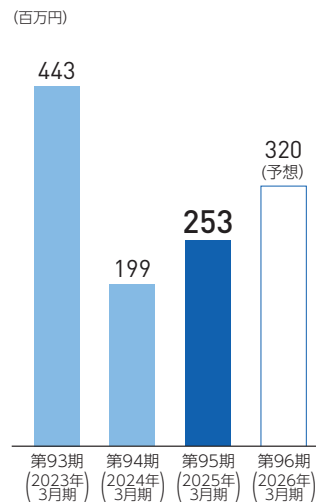
営業収入

166億46百万円



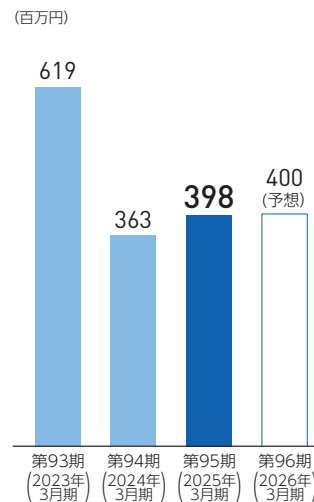
営業利益

2億53百万円

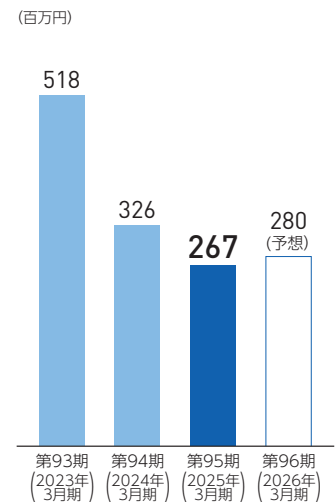


経常利益

3億98百万円

親会社株主に帰属する
当期純利益

2億67百万円



2026年3月期 通期予想

営業収入

168億00百万円

前年同期比
0.9%増

営業利益

3億20百万円

前年同期比
26.3%増

経常利益

4億00百万円

前年同期比
0.4%増

親会社株主に帰属する
当期純利益

2億80百万円

前年同期比
4.6%増



詳細は、当社ホームページに掲載されている「IR情報」をご覧ください。

<https://tradia.co.jp/ir/>





代表取締役社長
吉田 大介

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
ここに、第95期（2025年3月期）の連結業績と取組状況についてご報告申し上げます。

物流をとりまく環境はグローバル化、多様化によりめまぐるしく変化しており、より質の高いロジスティクス・サービスが求められています。

このような事業環境の変化に迅速に対応するため、経営基盤の強化を図るとともに、当社グループの持続的な成長と企業価値向上を目指してまいります。

企業使命である「国際物流業務を通して世界の産業とくらしに貢献する」を念頭に、社員、役員、そしてグループ会社一丸となり社業に取り組んでいく所存でございます。

今後とも、株主の皆様のご期待に沿うことができますよう努めてまいりますので、格別のご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2025年6月

当連結会計年度におけるわが国経済は、雇用や所得環境の改善、インバウンド需要を背景に、総じて緩やかな回復基調で推移したものの、長引く円安、物価上昇やエネルギー価格高騰により、国内消費の本格的な持ち直しには至らず、また、ウクライナや中東地域をめぐる地政学リスクの高まり、中国経済の減速に加え米国の通商政策への懸念など先行きの見通せない状況で推移しました。

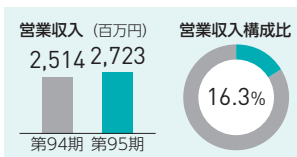
当社グループを取り巻く環境としては、輸出入ともに貨物の取扱量は前年を上回って推移しました。輸入関連では、保管料収入は増加しましたが、国内消費低迷により海上運賃は業者間の価格競争にさらされるなど、厳しい状況で推移しました。一方、輸出関連では、日本発の海上運賃の回復と相まって、荷動きが堅調に推移したため、業績を牽引する形となりました。

当社グループはこのような状況下におきまして、顧客ニーズに柔軟に対応した積極的な営業展開に努めてまいりました結果、総取扱量は前年同期比5.3%増加し、営業収入は前年同期比10.9%増の166億46百万円余（対前年同期16億38百万円余増）、営業総利益は前年同期比9.0%増の10億35百万円余（対前年同期85百万円余増）となりました。営業損益は、前年同期比26.8%増の2億53百万円余の利益（対前年同期53百万円余増）、経常損益は、前年同期比9.8%増の3億98百万円余の利益（対前年同期35百万円余増）となりました。しかしながら、前年計上した投資有価証券売却益のような特別利益がなかったため、親会社株主に帰属する当期純利益は、前年同期比18.1%減の2億67百万円余（対前年同期59百万円余減）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

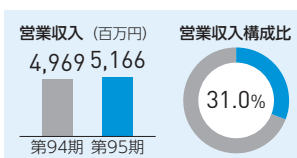
輸出部門

輸出部門におきましては、食料品と機械機器製品が堅調に推移しましたが、雑貨の取扱いが減少したことにより、取扱量は前年同期比で微減となりました。また、自社倉庫での取扱量は減少したものの、取扱件数が前年同期比で増加したため収益性が改善し、輸出部門の営業収入は前年同期比8.3%増の27億23百万円余（対前年同期2億8百万円余増）、セグメント利益1百万円余（前年同期はセグメント損失53百万円余）となりました。



輸入部門

輸入部門におきましては、食料品、雑貨の取扱いが増加し、取扱量は前年同期比7.7%増となりました。保管料収入は増加しましたが、取扱件数は前年同期比で微減となり、自社倉庫での作業も減少したことが響き、黒字化には至りませんでした。輸入部門の営業収入は前年同期比4.0%増の51億66百万円余（対前年同期1億97百万円余増）、セグメント損失16百万円余（前年同期はセグメント損失43百万円余）となりました。



連結財務諸表（要約）

連結損益計算書のポイント

（単位：百万円）

前期

2023年4月1日から2024年3月31日まで

営業収入
15,007

営業利益
199

経常利益
363

親会社株主に
帰属する
当期純利益
326

当期

2024年4月1日から2025年3月31日まで

営業収入
16,646

営業利益
253

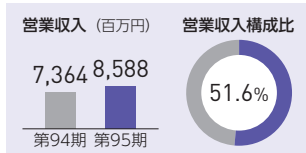
経常利益
398

親会社株主に
帰属する
当期純利益
267

（注）記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

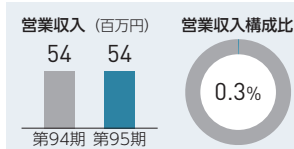
国際部門

国際部門におきましては、輸出と輸入で明暗が分かれる結果となりました。輸出におきましては、インド、東南アジア向けの資材や、半導体関連、複合機など、アジア発の三国間案件等により取扱量が前年同期比23.2%増となりました。また、円安により運賃水準も上昇し、営業収入も前年同期比48.4%増となりました。一方、輸入におきましては、取扱量は前年同期比で微増とし、営業収入は前年同期比9.0%増となりましたが、円安による日本国内の消費低迷の影響で物量が減少し、競合他社との運賃競争も激化する中、厳しい運賃調整を行うことで、取扱量と既存商権の確保に注力せざるを得ませんでした。このため、収益性の改善には至らず、また、部門全体の収入に占める割合が高いことから、セグメント利益でも貢献できませんでした。その結果、国際部門全体の営業収入は前年同期比16.6%増の85億88百万円余（対前年同期12億23百万円余増）、セグメント利益は前年同期比14.8%減の2億円余（対前年同期34百万円余減）となりました。



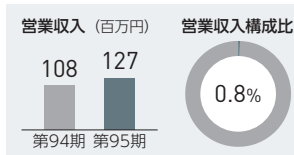
倉庫部門

倉庫部門におきましては、営業収入は前年同様の54百万円余となりました。セグメント利益は前年同期比2.8%増の51百万円余（対前年同期1百万円余増）となりました。



その他

船内荷役等の営業収入は前年同期比18.2%増の1億27百万円余となり、セグメント利益は前年同期比55.2%増の15百万円余となりました。



今後とも業績向上に全力で取り組み、株主の皆様のご期待に沿うことができますよう努めてまいりますので、格別のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

TOPICS

医薬品保管業務への取り組みについて

大阪市港区の築港倉庫を定温倉庫に改修し、本年7月より新たに医薬品保管業務への取り組みを開始いたします。医薬品を保管及び輸送する物流会社として、安全で高品質な状態でお客様へお届けするため、薬機法その他関係法規を遵守してまいります。

地球温暖化等による夏場の気温上昇を背景に、食品、医薬品、化学製品など温度変化に敏感な商品の品質を維持するために、定温保管の対応が求められるようになりました。

当社では、お客様の求める適切な温度管理にお応えしていくため、一部の既存常温倉庫のリノベーションを実施し、定温保管エリアの拡張を推し進めてまいります。

<施設概要>

名称：トレーディア株式会社 築港倉庫
所在地：大阪府大阪市港区築港3-1-32
建物：倉庫棟（定温倉庫：鉄筋コンクリート造 地上3階建）
面積：3,738.44㎡
機能：空調機器24時間監視システム、温湿度集中監視盤、温湿度センサー、感知式シートシャッター、全灯LED照明



感知式シートシャッター

連結貸借対照表のポイント

(単位：百万円)

前期末 2024年3月31日現在		当期末 2025年3月31日現在		前期末 2024年3月31日現在		当期末 2025年3月31日現在	
資産合計 10,412		資産合計 10,792		負債・純資産 合計 10,412		負債・純資産 合計 10,792	
有形固定資産 2,881	流動資産 3,996	有形固定資産 3,206	流動資産 3,921	株主資本 3,603	流動負債 3,880	株主資本 3,798	流動負債 4,049
無形固定資産 89		無形固定資産 77		その他の 包括利益 累計額 796	固定負債 2,131	その他の 包括利益 累計額 852	固定負債 2,092
投資 その他の資産 3,445	固定資産 6,415	投資 その他の資産 3,586	固定資産 6,870		純資産 4,400		純資産 4,650

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

会社概要

商号 トレーディア株式会社
所在地 神戸市中央区海岸通1丁目2番22号
設立年月日 1941年4月1日
代表者 代表取締役社長執行役員 吉田大介
従業員数 317名
営業種目 1.港湾運送業 2.通関業
3.普通倉庫業 4.貨物利用運送業
5.運送代理店 6.損害保険代理業
7.不動産賃貸 8.医薬品製造業
9.前各号に関連する一切の事業
主要取引銀行 みなと銀行・三菱UFJ銀行・三井住友銀行

事業拠点

関西 本店 神戸支店 大阪支社 六甲物流センター
摩耶埠頭倉庫 P.I.L15上屋 神戸西物流センター
大阪営業所(築港倉庫) 南港Q1上屋
東海 名古屋支店 潮風物流センター 名四倉庫
関東 京浜支店 東京港営業所(城南島物流センター)
大井海貨上屋2号棟 横浜営業所(新山下倉庫)

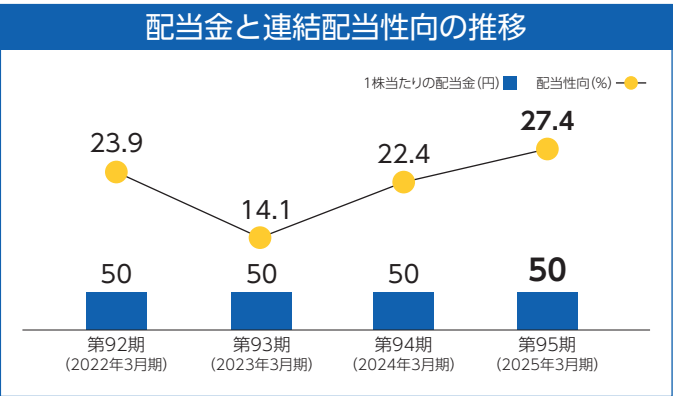
株式の状況

発行可能株式総数 5,400,000株
発行済株式の総数 1,470,000株
株主数 1,189名

大株主（上位10名）

株主名	持株数(百株)	持株比率(%)
トランコム株式会社	1,422	9.7
トレーディア株式会社社員持株会	956	6.5
大豊運輸倉庫株式会社	700	4.8
丸正株式会社	700	4.8
日本郵船株式会社	687	4.7
三菱UFJ信託銀行株式会社	667	4.6
日本製麻株式会社	569	3.9
垂水 邦明	309	2.1
株式会社シンワ・アクティブ	250	1.7
額川 欽和	207	1.4

(注1) 持株数は百株未満を切り捨てて表示しています。
(注2) 持株比率については、自己株式数(3,818株)を控除して算出し小数第2位を四捨五入して表示しています。



※第92期(2022年3月期)は、設立80周年記念配当20円を含む。

UD FONT
見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。

役員 (2025年6月27日現在)

代表取締役	社長執行役員	吉田 大介
取締役	上席執行役員／海外事業本部長	堀木 靖之
取締役	上席執行役員／営業統括本部長 兼 京浜支店長	羽澤 哲朗
取締役	執行役員／総務本部長	小林 英之
取締役	(社外取締役) 監査等委員	中弥 和美
取締役	(社外取締役) 監査等委員	織田研二郎
取締役	(社外取締役) 監査等委員	石塚 一夫
上席執行役員	神戸支店長 兼 大阪営業所長	森田 勝徳
執行役員	財務本部長	茨木 信弘
執行役員	名古屋支店長	菅原 勲
執行役員	大阪支社長	松岡 隆至
執行役員	国際統括本部長	笹井 一成

株主メモ

決算期 毎年3月31日
定時株主総会 毎年6月
基準日 定時株主総会において、権利を行使すべき株主様は、毎年3月31日現在の株主名簿に記載された株主様とします。

公告方法 電子公告
株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
☎0120-094-777

1単元の株式数 100株

- (ご注意)
- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
 - 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取り扱いいたします。
 - 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株主の皆様の声をお聞かせください

コエキク

当社は、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、アクセスキー入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。

<https://koekiku.jp>

アクセスキー

スマートフォンからカメラ機能でQRコードを読み取り
QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝を進呈させていただきます。

本アンケートは、株式会社プロネクサスの提供する「コエキク」サービスにより実施いたします。
アンケートのお問い合わせ「コエキク事務局」 ☎ koekiku@pronexus.co.jp